

✧ 尿検査

◆ PH

尿は通常弱酸性です。尿路感染症では尿中の細菌増殖によりアンモニアが発生しアルカリ性に傾きやすくなり、糖代謝異常では尿中にケトン体が増量し、酸性に傾きやすくなります。健康人でも食事の種類により 4.5~8.0 の間を移動します。

◆ 尿糖

尿中に糖が出ているかを調べます。血糖値が高くなると、尿に糖がもれ出てくるようになり、陽性の場合には糖尿病が疑われます。ただし、血糖値が高くなくても腎臓の機能が低下して尿に糖が出る場合があります（腎性糖尿）。

◆ 尿蛋白

尿中に蛋白質が出ているかを調べます。健康な場合でも尿には少量の蛋白質が出ることがありますが、腎臓に障害が起こると、尿中に漏れ出る蛋白質の量が増えるため、腎臓病の発見につながります。

◆ 尿潜血

尿中に血液が混ざっていないか調べます。肉眼ではわかりにくい微量の血液が混入していないかを調べることができ、腎・尿路系の異常がわかります。

◆ 尿沈渣

尿沈渣とは、尿を試験管にとって遠心分離器にかけ、試験管の底に沈殿している固形成分の種類と数を顕微鏡で観察して調べ、腎・尿路系の異常がわかります。